

発音訓練用カード

岩鶴恒義

作成

発声訓練の内、「発音」の明瞭度を向上させるのは

「舌の動き」です。この教材では様々な短い文章を

羅列しており、それらを読むことで舌の動きの活性化を
企図します。ただ、単に音読するだけでも多少の効果は
現れるかも知れませんが、より効果的に練習するには、
次のような方法を試されるほうが良いでしょう。

ペンを口に咥えて舌に負荷をかける



- キャップつきのサインペンかボールペン。ペンを口に咥えます（縦に咥える）
 - 上下の前歯で咥えます。咥える長さは5ミリ前後にします。
 - 唇を意図的に動かさないようにします。
- 以上のような状態で文章を読みます。

読むときには次のようにことに留意してください。

● **思い切り早口**で読みます。できれば大きな声が良い。

● いずれも初見の文章ですから、漢字の読み方がわからなくても良いので、適当に読んで「読み切る」ようにします。

● ペンを咥える時と、外して読むのを文章ごとに交互にすると「舌の動き」を実感できるでしょう。

では始めましょう！

一般的な応対をする場合のおじぎは十五度、お礼の場合のおじぎは三十度、お詫びをする場合のおじぎは四十五度というのが一応の目安です。おじぎをする時は、首が曲がったり、背中が丸くならないよう注意しましょう。また顔の表情も大切ですよ。

コンラッド・インターナショナル・ホテル内には、
一〇〇以上のテーブル・ゲームが楽しめるジュピターズ・
カジノがあり、人気を集めています。買物をするなら、
デパートやスーパーのほか、個性的な店が揃うゴールド・
コースト最大のショッピングセンター、パシフィック・
フェアがおすすめです。

決算日前後のモデル会社の総務課（経理業務を担当）で、どのように決算手続きがすすめられるのか、また、その決算を基にして、どのように法人税の申告がなされるのかについて、決算打合わせ会議で話題を軸にして、決算の大まかな「流れ」を見ていきます。

ユニオンジャケットを模し、オーストラリアでも有数の
美しさを誇るフィッツロイ庭園や、キャプテン・クックが
少年時代を過ごした家、植民地時代の上流階級の暮らし
ぶりがかがえるコモハウスなどがメルボルン市内の
見どころと言えます。

暗い事件が影を落とす一方で、世に笑いがあふれている。テレビに劇場に映画館に、哄笑が起こらない日はない。

しかし、笑いは単にその場で消費されているだけで文化的な評価が軽視されてきたのではないか。笑いを生む「ユーモア」の手法に時代性は、変化はあるのか、「学問」してみる。

自然災害や戦争のほか、肉親の死など衝撃的な体験がもたらす心の傷の後遺症を、心的外傷後ストレス（PTSD）と呼ぶ。体験から一年といった節目に突然、記憶が甦ったり、あたかも現在起きているような感覚に捕らわれたりする心の動きを、特に記念日症候群と呼んでいる。

「記念日反応」や 「命日効果」とも称される。

黄金色の砂浜が四二キロも続くサーファーズ・パラダイス。抜けるように青い空、紺碧の海とのコントラストが実に見事で、本当にため息ものの美しさです。浜辺には高層ホテルが建ち並び、おしゃれなブティックやレストランが集まっています。

白い氷原と化したオホーツク海を、流氷観測の砕氷型
巡視船「そうや」（三八〇〇トン）が厚さ数十センチの
氷を砕きながら進む。五日午前、網走の東北東四八キロ
付近を北に向けて航行中。流氷はすでに知床から網走の
沖合を埋め、氷の海を渡る風は刺すように冷たい。

北大阪急行の桃山台駅から四十七番の「阪急曽根行き」のバスに乗り、「熊野町一丁目」下車。豊中駅からバスに乗る場合は「熊野田小学校前」下車。邸宅が建つこのあたりは、落ち着いた雰囲気が漂う街。近くを流れる天竺川に沿って、のんびりと散歩したくなる。

昨年十二月、被災地ににぎわいを取り戻そうと、イタリアの伝統的な光の芸術「ルミナリエ」が、神戸市中央区の旧居留地などで披露された。色とりどりの電飾に埋まった街並みは、いかにも神戸らしく洗練されて美しかった。

水面に優雅な姿を映すオペラ・ハウスは、シドニーのシンボルの存在です。オーストラリアのオペラやバレエ、演劇、交響楽団の本拠地になっています。世界有数の規模を誇るシドニー水族館や、海洋博物館、大ショツピングセンターなどが集まっているダーリングハーバーへは、モノレールが便利です。

宝塚歌劇団雪組の「あかねさす紫の花」は、万葉の歌を題名にとった久々の日本物ミュージカル。古代の大化改新の立役者、中大兄皇子、大海人皇子兄弟と歌人額田女王との愛と闘いを描いたロマンで、きらびやかな王朝風俗に哀調を帯びた万葉の歌が溶け合い、感動的な舞台に仕上がった。

中国政府はこのほど、インターネットなどコンピュータによる国際情報ネットワークの利用を管理するため、国家機密の漏洩やポルノ情報の入手を禁止する内容の暫定規則を制定、施行した。違反すれば、刑事訴追することもあるとしている。

言葉遊びの一つに次のようなものがあります。

「いにしえの昔の武士の侍が、木曾の山なかの山中で、馬から落ちて落馬して、女の婦人に笑われて、赤い顔して赤面し、家に帰って帰宅して後、小さな刀の小刀で腹搔き切って切腹し…」と続いています。

一九四五年（昭和二十年）八月十五日正午からラジオで放送された玉音放送により、前日に決まったポツダム宣言受諾及び日本の降伏が国民に公表された日を「終戦記念日」とする。ほかに終戦の日（しゅうせんの日）とも称され、政治団体や非営利団体などによる平和集会が開かれる。

けいれん

痙攣性発声障害は、発声器官である喉頭こうとうに器質的異常や

運動麻痺を認めない機能性発声障害の一つである。発声

きそくせいかせい

時に声の途切れやつまり感、あるいは氣息性嗄声などを

呈する。日常会話機能が著しく障害され、患者は就労や

社会活動が大きく制限される。治療法の確立が望まれている。

日本語の共通語アクセントには大きく分けて平板と起伏、二種類のアクセントがあります。平板型アクセントは、最初の一拍目だけが低く、それ以降の拍が一拍目より高く平坦に発音されます。平板型の単語の中では、音の高さの急な下降がありません。

「合掌造り民家園」の敷地内には、岐阜県重要文化財指定建造物九棟を含む約十五棟が移築保存されており、他に、白川村の文化、伝統の資料を展示しています。

建物は全て合掌造りで、民家のみではなく、いたくら板倉、

からうす唐臼小屋、はさごや馬小屋、はさごや稲架小屋もあります。

おおしか

こしぶがわ

大鹿村は長野県の南部、天竜川の支流、小渋川の上流に位置します。日本列島を縦断する大断層「中央構造線」

が村の中心を貫き、東側は南北にのびる南アルプス連峰、西側は伊那山脈に囲まれ、村の面積の97%が山林原野で

きゅうけいしやち

占められ、集落が急傾斜地に点在するのどかな山村です。

広島は原爆による被災後、平和文化都市の建設を目指して、復興の道を歩んできました。その道程の中で
久しく求められていたのは、心の喜びとやすらぎの
場でした。ひろしま美術館は、“愛とやすらぎのために”
をテーマに、人々の希求に応える香り高い美の殿堂
として誕生したのです。

ヴォイニツチ手稿とは、一九一二年にイタリアで発見された古文書である。未解読の文字が記され、多数の奇妙な絵が描かれていることが特徴である。ほぼ全てのページに女性、占星図、植物といった様々な絵が彩色されて大きく描かれている。

奈良県にある唐招提寺では、鑑真和上の命日である
六月六日の午後一時から、和上を偲び、講堂で舍利会が
執り行なわれます。前日五日は午前九時から鑑真和上
坐像を安置する御影堂で献香・献茶が行なわれます。
また同日午後四時から、和上の徳を讃える法要が講堂で
執り行われます。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とは、江戸時代のキリスト教禁教政策の下で、ひそかにキリスト教信仰を伝えた人々の歴史を物語るものです。

潜伏キリシタンが、自らの信仰をひそかに続ける中で育んだ宗教的伝統をどのように形成、展開し、そして終わりを迎えたのかを表しています。

道路交通法は道路における危険を防止し、交通の安全と円滑を図ることを目的としています。そのため、道路法や道路運送法で規定された道路、自動車道および一般交通に使われる場所を使用する歩行者、車両、および路面電車の交通方法を定めるとともに、運転免許、罰則などについて規定されています。

「文楽」の起源は、竹本義太夫が、大坂に「竹本座」を建て、「義太夫節」という語り、太棹三味線による

さんぎょう

演奏、そして人形遣いの三つの技を合わせた「三業」での人形浄瑠璃の興行を始めたことに由来します。

現在、「文楽」という名称は、すべての人形浄瑠璃の代名詞となっています。

ザッハ・トルテは、ウィーンのホテル・ザッハの名物ケーキであり、「チョコレートケーキの王様」

と称される。作り方は、小麦粉、バター、砂糖、

卵、チョコレートなどで作った生地を焼いてベースを作り、アَنْズ（アンズ）のジャムを塗った後に、表面全体を溶かしチョコレート入りのフォンダンでコーティングする。

六百年の歴史を持つ堺の刃物生産は、室町時代に加賀国（現在の石川県）から刀鍛冶を祖とする一団が堺へ移住したことに始まります。しかし、その礎は古墳時代、日本最大の仁徳天皇陵古墳の築造によって培われて

いました。くわ すき 鍬や鋤などの鉄製道具をつくる職人集団が堺に定住し、鍛冶技術が発達したと考えられています。

ふうしかでん

ぜあみ

「風姿花伝」は、世阿弥が記した能の理論書である。

能の修行法・心得・演技論・演出論・歴史・能の美学

えとく

など世阿弥自身が会得した芸道の視点からの解釈を加えた著述になっている。成立は室町時代の初め頃。「幽玄」

「物真似」「花」といった芸の神髄を語る。最古の

能楽論の書であり、日本最古の演劇論とも言える。